

社会科学習指導案

活動場所 本校舎 2階 3年 4組 教室
生徒数 3年 4組 男子 16名 計 32名 女子 16名
指導者 教諭 立部 剛

1 単元名 「わたしたちの生活と経済」

2 単元について

本単元は学習指導要領〔公民的分野〕2内容(2)「国民生活と経済」の「ア 私たちの生活と経済」により構成されている。具体的には、学習内容として、消費、流通、生産の三つの経済活動を取り扱う。

経済活動の意義は、生活の維持、向上にあり、生活のための重要な役割を担っている。したがって、中学生の時期に、今日の経済活動に関する諸問題に着目し、自ら考えることは、将来の生活の充実に向けて、非常に重要であると考え。加えて、冷戦の終結、バブルの崩壊、東南アジア諸国や中国の台頭といった多くの要因が複雑に絡み合い、長引く不景気など日本経済が大きな変化を余儀なくされている現在、これらの課題を解決していこうとする態度を育てるためには、まず経済の仕組みを正しく理解することが大切である。このような視点からとらえると、本単元で目を向けさせる消費、流通、生産という三つの経済活動は、私たちにとって最も身近である点から、生徒自らの問題として考えやすい単元であるといえる。次に、これらが基本的な経済活動であるという視点から、大単元「わたしたちの暮らしと経済」全体の導入過程に当たり、経済全体の仕組みを理解する上で重要な部分でもある。

生徒の中には、公民的分野の学習に対して、抽象的で難解な用語や概念の学習が多くなることに抵抗感をもつ生徒も見られる。したがって、社会の仕組みや毎日の時事問題等と深くかかわっている公民的分野の学習内容が、生徒の毎日の生活と結びついていない現状がある。本単元から学習する経済についても、何か難しいものというイメージをもっており、身近な問題として意識するに至っていない。例えば、企業の倒産や失業、就職難など、メディア等から得ていると思われる日本経済に関する情報も、生徒の日常にとっては遠い存在であり、毎日の消費生活等と結びつけて考えることは少ないと考える。

以上を踏まえて、本単元の指導に当たっては、次のことに留意したい。

第一に、経済の仕組みを理解する上で、ともすれば抽象的な概念や経済用語の解説が多くなりがちであったことから、できるだけ毎日の生活と密着した事象を提示したい。具体的には、相次ぐ消費者問題、様々な小売業に代表される流通形態の変化、価格破壊等、現在の消費生活に直面した生徒に身近な題材を積極的に授業で取り上げたい。このことによって、経済学習に対する興味・関心を喚起できるとともに、生きた学習内容となると考える。

第二に、生徒にとって消費生活が最も身近な経済活動であり、将来も関わり続けることから、これを単元の学習の中心に据え、他の経済活動と結びつけながら、学習内容を構成した

い。さらに、今後ますます進むと思われる消費者主権の観点に立てば、自ら考え適切な判断をしたり、望ましい行動をとったりすることができる消費者を育成することが必要である。このことから、生徒が自ら考え、主体的に追究活動に取り組み、さらに考えを深めていくことのできる学習活動を展開したい。具体的には、シミュレーションやロールプレイ、作業的な学習、適切な課題を設けて行う学習などを位置付ける。このことは、学習のプロセスを重視した授業を展開することであり、学習指導過程で他者と積極的にかかわりをもったり、他者の意見に耳を傾けたりする場面をつくり出すことで、生徒の考えや判断をより深めることができると思われる。

3 単元の学習目標

- (1) 個人や企業の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えることができる。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 消費者問題、流通業界の役割と変容、企業の役割と社会的責任について、多面的・多角的に考察し、個人や企業の経済活動のあり方を、様々な立場から公正に判断することができる。(社会的な思考・判断)
- (3) 個人や企業の経済活動に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりすることができる。(資料活用の技能・表現)
- (4) 消費生活の意義、消費者主権の考え方、流通の仕組みと役割、企業による生産の仕組みと役割について理解し、その知識を身に付けることができる。(社会的事象についての知識・理解)

4 単元の評価規準

学習活動における 具体的な評価規準	想定される生徒の学習状況と手だて
	A 「十分満足できる」と想定した生徒の状況 C 「努力を要する」と判断した生徒への手だて
ア 社会的事象に対する関心・意欲・態度	
① 家計における収入と支出の実際を通して、望ましい消費生活に向けて意欲の高まりを見ることができる。	A 家計における収入と支出の実際を通して、望ましい消費生活をこれからの自分の問題としてとらえるなど、意欲の高まりを見ることができる。 C 家計における収入と支出の実際を再度見直させ、具体例の中から望ましい消費生活に目を向けられるように支援する。
② 消費者問題を自分の問題としてとらえ、その解決策について消費者の自立と保護の両面から考えることができる。	A 消費者問題を自分の問題としてとらえ、実際の被害例や対応策を自分で調べ、それをもとに解決策について消費者の自立と保護の両面から考えることができる。 C 消費者問題については、その保護のみではなく、消費者の自立の側面も重要であることを補説する。
③ 課題追究プロセスカードに本時の振り返りや次時への課題を確実に記入することができる。	A 課題追究プロセスカードに、意欲的な振り返りや全体への問題提起となる課題などを記入できる。 C 課題追究プロセスカードに対して、具体的な記入をするように促すなどの支援をする。
イ 社会的な思考・判断	
① ハンバーガーショップの出店シミュレーションにおいて、異なった立地におけるプラス面、マイナス面を考察することができる。	A ハンバーガーショップの出店シミュレーションにおいて、異なった立地におけるプラス面、マイナス面を考察するとともに、ハンバーガーショップを出店する際にどんな点に留意すべきか、説明することができる。 C ハンバーガーショップの出店に当たって、それぞれの立地条件について具体的に補説し、プラス面やマイナス面を考察できるように支援する。

② 小売業を例に流通業界の大きな変化と影響について考察することができる。	A 二つ以上の具体的な事例を挙げながら、流通業界の大きな変化と影響について考察することができる。 C 具体的な事例を教師側が焦点化し、これを基に流通業界の大きな変化と影響について考察できるように支援する。
ウ 資料活用の技能・表現	
① 情報や資料を活用しながら、家計のシミュレーションの過程や結果をまとめたり、説明することができる。	A 選択の原理を踏まえ、情報や資料を活用しながら、家計のシミュレーションの過程や結果をまとめたり、説明することができる。 C 家計のシミュレーションに必要な用語等について補説をしたり、進捗が進んだ生徒とペアを組ませるなどして支援する。
② 用意された資料を用い、会社設立のシミュレーションにおいて適切な企画書づくりを行うことができる。	A 教師側の資料以外の視点を加えながら、会社設立のシミュレーションにおいて、適切な企画書づくりを行うことができる。 C 企画書づくりに必要な用語の補説をしたり、進捗の速い生徒とペアを組ませるなどして支援する。
エ 社会的事象に関する知識・理解	
① 消費者の権利を知り、様々な消費者問題に対する対応策について説明できる。	A 消費者の権利をその背景とともに説明できるとともに、様々な消費者問題に対して、その対応策について具体例をあげて説明できる。 C 様々な消費者問題に対する対応策について、具体例を示しながら、理解させるなどして支援する。
② 流通の役割や大まかな仕組みについて説明することができる。	A 流通の役割や大まかな仕組みについて、具体的な商品や流通業者の具体例をあげながら説明することができる。 C 具体的な商品や流通業者の代表例を具体的に例示し、その役割や仕組みを説明できるように支援する。
③ 株式会社の仕組み、企業の目的、種類とはたらきを説明できるとともに、資本主義経済の大まかな特徴を理解することができる。	A 資本主義経済の特徴を、その長所と短所をあげて説明できるとともに、株式会社の設立資金の集め方や、株主と経営者の関係、企業の社会的責任について具体例をあげて説明できる。 C 株式会社の仕組み、企業の目的、種類と働きについて、補助的なワークシートを用いて整理するなどして支援する。

5 単元の指導計画

(1) 単元の学習・評価計画

時間	学習の流れ	評価項目	評価方法
1	○ 単元オリエンテーション－ハンバーガーショップの経営者になってみよう－	ア－③、イ－①	観察・KPC・ワークシート
2	○ 消費と貯蓄	ア－①・③、ウ－①	観察・KPC・ワークシート
3	○ 消費者の権利と保護	ア－②・③、エ－①	観察・KPC・ワークシート
4	○ 流通のしくみ	ア－③、エ－③	観察・KPC・ワークシート
5～7 2/3 本時	【課題学習】 ○ 不景気の中、生き残るための小売業の作戦をさぐれ！	ア－③、イ－②、エ－②	観察・KPC・ワークシート
8	○ 生産のしくみ	ア－③、ウ－②、エ－③	観察・KPC・ワークシート
9	○ 単元のまとめ	本単元における諸学力	単元テスト

※KPC… 課題追究プロセスカード

(2) 課題学習「不景気の中、生き残るための小売業の作戦をさぐれ！」学習の流れ [3時間]

時間	過程	学習の流れ	教師の支援
1	学習課題の把握 ↓	◇ 学習課題を理解する。 不景気の中、生き残るための小売業の作戦をさぐれ！	
	予想 ↓	◇ 学習課題に対する各自の予想を立てる。 売上げを伸ばす小売業の条件は何か？	
	課題の焦点化 ↓	◇ 各自の予想を焦点化し、仮説を立てる。 予想で挙げた条件の中で、最も優先される条件は何だろう。	
2 《本時》	追究活動 ↓	◇ 100円ショップの利潤の仕組みについて、調べる。 100円ショップは、なぜ利益を上げることができるのか。	
	予想の修正① ↓	◇ 追究結果をもとに、最初の自分の考えを見直す。 100円ショップは、今後も売上げを伸ばしていくのだろうか。	
3	予想の修正② ↓	◇ 追究結果をもとに、最初の自分の考えを見直す。 安売り以外で、売上げを伸ばしている小売業はないのだろうか？ コンビニエンスストアは、 どのようにして売上げを伸ばしているのだろうか。	
	最終判断	◇ 最後に自分の考えを書く。	

6 本時の実際 (6 / 9)

(1) 題材名

「不景気の中、生き残るための小売業の作戦をさぐれ！

—100円ショップは、なぜ利益を上げることができるのか？—

(2) 学習目標

ア 身の回りの様々な小売業の業態の例として100円ショップを取り上げ、その企業活動の特色について、流通の合理化等を中心に理解を深めることができる。

イ 学習課題に対して、関心や意欲をもって追究しようという態度を持つことができる。

(3) 授業設計の視点

ア 身近な題材に基づいた学習課題の設定

生徒にとって身近な題材を取り上げ、「適切な課題を設けて行う学習」を行うことで、社会的事象に対する関心や意欲を喚起するとともに、単元の学習内容への理解を深めさせる。

イ 新たな課題を生み出す「予想の修正」の段階

追究活動をもとに、当初の予想や仮説をゆさぶるような資料の提示や発問の工夫などの手だてをとることで、新たな疑問や課題をもたせるように留意する。

(4) 授業の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点と評価 (○は留意事項・●は主な発問と指示・◆は評価項目)
導入	10分	1 前時に立てた仮説を想起するとともに、学習計画を確認する。	○ 課題追究プロセスカードを用いて、前時までの学習内容を想起させる。
		2 いくつかの商品の価格を考える。	
追究	10分	3 100円ショップの売上げの推移を見る。	● これらの商品の価格を当ててみよう。 ○ 学習への意欲付けになるように留意する。
		4 本時の学習課題を把握する。	
活動	10分	100円ショップは、なぜ利益を上げることができるのか？	
		5 100円ショップが売上げを伸ばしている理由を考え、発表する。	○ 課題追究プロセスカードを用いて、前時までの学習内容を想起させる。
展開	15分	6 100円ショップは、なぜ商品を100円に抑えることができるのか考え、発表する。	● 100円ショップは、なぜ100円で利益を上げることができるのだろうか。 ○ 100円ショップが利益を上げることができる理由を広くとらえさせる。 ○ 100円ショップで買い物をした経験などを想起させる。
	10分	7 100円ショップの今後の経営について考え、発表する。	● 100円ショップが商品を低価格におさえることができるのはなぜだろう。 ○ 流通の仕組みを想起させ、100円ショップの価格設定のポイントを整理させる。 (仕入れ先、流通過程、販売でのコスト削減)
予想の修正	10分	8 課題追究プロセスカードに記入する。	● 100円ショップは、今後も売上げを伸ばしていくのだろうか。 ○ 100円ショップの売上げが今後伸びるのか、伸びないのか、意見を分けて話し合わせる。 ○ 低価格の競争が進むことのマイナス面に気付かせたり、今後の100円ショップの対応を考えさせたりする発問を補助的に準備する。
		9 教師の話聞く。	○ 次時の学習への意欲をもたせる。
終末	5分	9 教師の話聞く。	● 100円ショップは、今後も売上げを伸ばしていくのだろうか。 ○ 100円ショップの売上げが今後伸びるのか、伸びないのか、意見を分けて話し合わせる。 ○ 低価格の競争が進むことのマイナス面に気付かせたり、今後の100円ショップの対応を考えさせたりする発問を補助的に準備する。